

# 踏 み 跡 <My Mountains>

東京	待乳山(東京都で一番低い山)	No.316
----	----------------	--------

東京都で一番高い山は雲取山(2017.1m)、では一番低い山は？

日本山名事典によると待乳山は海拔10mと記されているが、最新版の国土地理院の地形図には9.8mの表示と三角点の記号がある。

山と言う点では愛宕山(26m)の存在もある。まずは待乳山から手をつけて見ることにした。

平成23年5月10日

八千代台発11時14分、超低山登山は出発時刻が遅くても良いのが特徴。青砥で乗り換えて浅草着は11時56分。歩き始める前に吾妻橋から東京スカイツリーを撮影。

五月とは言え晴れていて暑い日だ。隅田川に沿って遡るルートは隅田公園の中。もう花見シーズンは終わったので人でごったがえすこともなく、静かに歩くことができる。東武線の線路をくぐり、言問橋の下を抜けて川風を右頬に感じて景色を楽しみながら歩く。桜橋で公園から川沿いの道に出ると目の前にこんもりと緑に包まれた寺が現れた。表に回って見れば、これが待乳山聖天さま。

正式名称は「聖観音宗待乳山本龍院」、推古天皇3年(西暦595年)創建とのこと。

全体に小さな山のような膨らみを持っていて、一番奥が最高点のようだ。門を入れて石段を上がって、本堂へ。そして、とにかく一番高そうな所まで進んでみたが、特に「山」を示すような標識も三角点も見当たらなかった。しかし、「一番高そうな所」には三角点か測量基準点の残骸と思われる石が残っていた。でも、これが9.8mの三角点を示すものかは判断しかねる。(写真参照)

待乳山の名前の期限は、「真土(まつち)」ではないかと言う説があるようだ。周囲は泥地だが、この小山は土の山でしっかりしていたのでこの名が付いたと書いた物を見たことがある。

江戸時代には下町の平地の中の小さな突起で、山の手の先端にある飛鳥山などとともに景色の良い場所だったらしい。

寺を出て遅い昼飯は伝法院通りで「かきあげ丼」。食堂のテレビは27℃と報じていた。

昼食後は、地形図で見つけた吾妻橋三丁目の三角点(39.3m)を探してみることにした。地図を片手に橋を渡って行って見たが、どうやらマンションの敷地の中に入ってしまったか、その時に下敷きになったか、残念ながら見つからなかった。

まだ暑さに慣れていない5月、27℃の気温は「厳しい暑さ」と感じる散策だった。

業平橋駅まで歩いて登山の部はフィニッシュ、次の予定(落語会開催)のためにバスで豊洲へ移動。

以上

